

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都中央区晴海 2-1-40 2F
園名	ポピンズナーサリースクール晴海

1. 活動のテーマ

<テーマ>

乗り物

<テーマの設定理由>

当園はJR、地下鉄、ゆりかもめ、バス、車、飛行機、船など色々な乗り物に乗ったり、見たりすることが身近にある環境にあり、興味をもっている姿が見られます。子ども達の興味関心を更に深めていくために「乗り物」というテーマを設定しました。

2. 活動スケジュール

6/7…親子遠足
7/16…散歩で色々な乗り物探し、標識探し
8/26…バスと標識作り
9/3…お部屋でバスごっこ
9/27…運動会
10/22…遠足
12/20…生活発表会
2/18…巧技台あそび

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

準備物：道路標識一覧、段ボールや廃材、絵の具、ペン、ボンド、模造紙など制作用具、巧技台

環境設定：親子遠足で大型バスに乗車するので、大型バスを観察できるよう促していく。

- ・散歩で見つけた道路標識を写真に撮り、帰園して調べられるように一覧を用意。
- ・グループごとに分かれ、協力してバスと標識を作成できるように用意。できたバスを使ってバスごっこができるように室内にコースを作成。運動会に展開できるように用意する。
- ・東武博物館に遠足に行き、電車やバスについての個々の興味を深められるように計画。
- ・バスをテーマにした絵本を地域の場所にアレンジして、発表会に展開。小道具のバスやバス停を子ども達で作れるように用意する。
- ・巧技台を使った室内遊びの講師を招き、運動遊びにも乗り物を取り入れ、発展させられるように用意する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

6/7…親子遠足で大型バスに乗車。大型バスと路線バスの違いなど、よく観察できるように声をかけ、出かけた。

7/16…散歩で色々な乗り物探し、標識探しを行う。見つけた標識を写真に撮り、帰園後グループごとに意味を調べる。

8/26…バスと標識作り。パーツごとに分かれ、分担して作り組み立てて完成させる。

9/3…お部屋でバスごっこ。できたバスと標識を室内に設置し、安全運転ゲームを行う。

9/27…運動会。室内で行った安全運転ゲームを運動会用にアレンジし保護者に披露して楽しむ。

10/22…遠足。電車、バスへの興味関心を深めるため東武博物館に出掛ける。運転体験やジオラマ見学、昔のバスなどの展示を楽しむ。

12/20…生活発表会。バスをテーマにした絵本を晴海地域にアレンジして劇遊び実施。バスやバス停などの小道具を子ども達で準備し、本番までの期間を楽しんだ。

2/18…巧技台あそび。講師を呼び、乗り物をテーマにした巧技台遊びを実施。巧技台コースに標識を貼り、ルールを守って進んだり、コースのアレンジを楽しんだりする。乗り物になりきって競争する遊びも展開。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・クラステーマ「乗り物」として活動を進める中で、「車は何を見て運転しているの?」と疑問に感じていたので、皆で実際に車と標識を探す探検に行くことにしました。帰園後、用意していた標識ポスターと、見つけた標識の写真を渡すと、友達と見比べ、観察する様子がありました。

・乗り物ごっこをすることになり「乗り物ごっこをする為には何が必要かな?」と問うと、「車」「標識」と出たのでグループごとで作成しました。オリジナルの標識を作ったり、ルールをアレンジしたりして室内で乗り物ごっこを実施。ルールに乗っ取って走行する安全運転について考え、運動会で披露しました。

・遠足で東武博物館へ。運転体験、ジオラマ見学、昔のバスの展示を見て興味関心が深まりました。バスを題材にした絵本を晴海の地域でアレンジし、劇ごっことして展開。小道具も自分たちで作りました。

・巧技台を使った運動遊びの講師に来てもらい、コースに標識を設置。標識の存在に気づくと、ルールに沿って巧技台遊びを楽しむ様子がありました。ルールに沿っていないと友だち同士で指摘し合う様子も見られました。色々な運動遊びにも「乗り物」をテーマにアレンジすることが出来ることを学びました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

乗り物をきっかけに、子ども達の興味関心は思ったよりも多岐にわたりました。

ドキュメンテーションを作成してみると、グループ活動を行う事で同じ目標を持って取り組む事や役割分担、コミュニケーションをとりながらの連携が見られ、子ども達の成長を感じました。

困っている時に「どのようにしたら解決できるかな？」と声掛けし見守っていると、友達に協力をしてもらうことを思いつき行動に移すことが出来ました。保育士が見守ることの大切さを改めて感じた出来事でした。

子ども達が興味のある活動をしているので、自分達で考えたり、工夫したり、アレンジしたりする様子が沢山見られました。主体的に活動を展開できたことで生まれた姿だと思います。今後も子ども達から出たアイデアを基に活動を展開させていきたいです。